

令和4年度事業計画

県受託事業

1. 栽培技術普及指導

適切で効果的な放流を施すため、放流適地選定、放流時の立会い指導、放流後の状況確認を行い、漁場の管理を漁業者等と共に推進する。

また、養殖を行なう場合の飼育技術の指導、飼育施設へのアドバイス、増殖や移植活動に取り組む者への技術指導を行う。

ア. 種苗放流

魚種	箇所数	指導先
ヒラメ	2	淀江、境港
キジハタ	10	網代、酒津、浜村、夏泊、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江
アワビ	15	東、浦富、田後、網代、福部、賀露、酒津、浜村、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江、境港
サザエ	14	東、浦富、田後、網代、福部、賀露、酒津、浜村、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江

イ. 養殖

魚種	箇所数	指導先
ヒラメ	2	湯梨浜振興合同会社、米子市漁協
マサバ	3	弓ヶ浜水産、米子市漁協、タシマ
キジハタ	1	三光株式会社
アワビ	1	テイトエンタープライズ
イワガキ	2	浜村、弓ヶ浜水産
ワカメ	5	東、田後、福部、泊、淀江
ムラサキウニ	2	青谷、泊（鳥取県漁協）

ウ. 増殖・移植

魚種	箇所数	指導先
イワガキ	11	田後、網代、酒津、浜村、夏泊、青谷、泊、赤碕、中山、御来屋、淀江
アラメ・クロメ	8	東、浦富、田後、網代、浜村、赤碕、中山、淀江

2. 施設維持管理

各種業務に係る機器類の適正な運転とその管理を行う。

3. マサバ試験養殖用種苗生産

県栽培漁業センターが試験養殖に用いるマサバ種苗を生産する。

（全長60mm：8,000尾）

4. マサバ晩期採卵試験

晩期（8月）の採卵を目的に親魚養成技術の構築を行う。

5. キジハタ早期採卵試験

早期（6月）に採卵を目的に親魚養成技術の構築を行う。

6. キジハタ試験放流用種苗生産
(全長80mm：3,500尾)
7. ツルアラメ藻場造成試験
ツルアラメの藻場造成技術の開発を行う。
8. アユ親魚養成及び放流事業
アユ親魚の養成と河川に放流する業務を行う。

独自事業

1. 種苗生産事業
漁業者などから受注し、次の種苗を生産・販売する。

	魚種	数量	大きさ
放流用	ヒラメ	60,000尾	全長80mm
	キジハタ	20,910尾	全長50mm
	アユ	426,000尾	体重 5g
		90,000尾	体重 1g
	アワビ	143,200個	殻長30mm
サザエ	326,000個	殻高 9mm	
養殖用	ヒラメ	15,500尾	全長80mm
	マサバ	395,000尾	全長60mm
	キジハタ	3,000尾	全長70mm
	アユ	10,000尾	体重 5g
移植用	アラメ・クロメ	プレート従来型 (58枚)	葉長10cm
		プレート小型 (107枚)	

2. 展示養殖事業 (養殖開拓事業)

養殖事業者の経営安定および新規参入者の育成のため、実施体験や技術習得の為の展示養殖と販売を行う。

魚種	数量	内容
ヒラメ	1,100尾	全長32cm (1,000尾販売)
アワビ	1,200個	殻長60mm (1,000個販売)

3. 新規事業開拓試験
新たな栽培対象種の種苗生産および増・養殖方法の技術開発を行う。
4. 栽培漁業実証研修

種苗生産に係る最新の情報収集及び新技術の実証研修、法人運営に係る情報交換を行う。

5. アワビ・サザエ等栽培漁業検討会

アワビやサザエ等の増養殖に関わる情報の提供や交換を行う。

令和4年度正味財産増減予算書（内訳表）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合 計
	資源維持培養事業	共 通	合 計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益	249,000		249,000	28,000	277,000
基本財産受取利息	249,000		249,000	28,000	277,000
受取補助金等	18,308,000		18,308,000	1,900,000	20,208,000
県交付金	18,308,000		18,308,000	1,900,000	20,208,000
事業収益	73,922,000		73,922,000	0	73,922,000
県委託金	12,928,000		12,928,000	0	12,928,000
独自事業収益	60,994,000		60,994,000	600,000	61,594,000
雑収益	0		0	21,000	21,000
受取利息等	0		0	21,000	21,000
経常収益計	92,479,000		92,479,000	2,549,000	95,028,000
(2)経常費用					
事業費	93,233,000		93,233,000		93,233,000
給料手当	35,089,000		35,089,000		35,089,000
臨時雇賃金	13,078,000		13,078,000		13,078,000
福利厚生費	6,222,000		6,222,000		6,222,000
退職金掛金	1,896,000		1,896,000		1,896,000
旅費交通費	367,000		367,000		367,000
会議費	50,000		50,000		50,000
通信運搬費	377,000		377,000		377,000
減価償却費	0		0		0
消耗品費	15,344,000		15,344,000		15,344,000
修繕費	805,000		805,000		805,000
印刷製本費	117,000		117,000		117,000
燃料費	375,000		375,000		375,000
光熱水料費	9,469,000		9,469,000		9,469,000
賃借料	4,159,000		4,159,000		4,159,000
委託料	50,000		50,000		50,000
保険料	130,000		130,000		130,000
諸謝金	205,000		205,000		205,000
租税公課	4,585,000		4,585,000		4,585,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合 計
	資源維持培養事業	共 通	合 計		
支払負担金	68,000		68,000		68,000
支払手数料	847,000		847,000		847,000
管理費				2,549,000	2,549,000
役員報酬				330,000	330,000
給料手当				1,398,000	1,398,000
臨時雇賃金				262,000	262,000
福利厚生費				267,000	267,000
退職金掛金				72,000	72,000
旅費交通費				70,000	70,000
会議費				55,000	55,000
通信運搬費				10,000	10,000
消耗費				5,000	5,000
修繕費				0	0
印刷製本費				0	0
光熱水料費				40,000	40,000
燃料費				40,000	40,000
賃借料				0	0
保険料				0	0
諸謝金				0	0
租税公課				0	0
支払負担金				0	0
支払手数料				0	0
経常費用計	93,233,000		93,233,000	2,549,000	95,782,000
当期経常増減額	△ 754,000		△ 754,000	0	△ 754,000
当期経常増減額	△ 754,000		△ 754,000	0	△ 754,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0		0	0	0
当期経常外増減額	0		0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 754,000		△ 754,000	0	△ 754,000
一般正味財産期首残高	24,331,000		24,331,000	0	24,331,000
一般正味財産期末残高	23,577,000		23,577,000	0	23,577,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	18,308,000		18,308,000	1,900,000	20,208,000
基本財産受取利息	249,000		249,000	28,000	277,000
一般正味財産への振替額	△ 18,557,000		△ 18,557,000	△ 1,928,000	△ 20,485,000
当期指定正味財産増減額	0		0	0	0

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合 計
	資源維持培養事業	共 通	合 計		
指定正味財産期首残高	253,242,000		253,242,000	0	253,242,000
指定正味財産期末残高	253,242,000		253,242,000	0	253,242,000
Ⅲ正味財産期末残高	276,819,000		276,819,000	0	276,819,000